



三菱電機  
エアーシングファン 事務所・教室用  
形式名  
AS-407SB2・AS-412SB2

2205876H92101

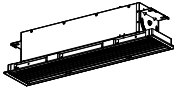
## 取扱説明書(据付工事説明書付)

販売店・工事店様用/お客様用

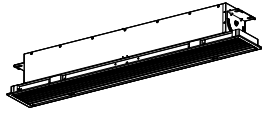
本製品は三菱業務用送風機エアーシングファンです。

AS-407SB2

AS-412SB2



グリル(別売システム部材)装着時



グリル(別売システム部材)装着時

### お客様へ

ご使用前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。  
なお、添付別紙の「三菱業務用/産業用換気送風機修理窓口」ご相談窓口のご案内とともに大切に保管し、必要となきお読みください。

### 工事店様へ

据付工事を始める前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に据付けてください。  
■この製品は単相100V 50/60Hz用です。電源を確認して据付工事を行ってください。  
■この製品には、システム部材(別売)のグリルが必要ですので、別途ご用意ください。  
■この製品には、システム部材(別売)のコントロールスイッチが必要ですので、別途ご用意ください。  
■この製品は、包装状態においてケーシング変形防止保護(バット(ダンボール))が取り付けられています。バットを取付けた状態で設置作業を行い、グリル取付けの際に取りはずしてください。  
■この製品は屋内用です。雨水がかかるおそれのある場所には据付けてください。  
据付工事終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また日本国外ではアフターサービスできません。  
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.  
No servicing is available outside of Japan.

## 据付工事説明書

工事店様へ

### 1.安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

<b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの	<b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに、軽傷または建物・機械などの物的損害に結びつくもの
禁止	水ぬれ禁止	分解禁止	接触禁止
指示に従う	回転物注意		

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

<b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>燃焼機器の燃焼時に風を直接当たらない不完全燃焼したり、炎が消え一酸化炭素中毒を起こす原因。</li> <li>ガス漏れに気付いたときは、スイッチの入切をしない。爆発・引火の原因。</li> <li>分解・改造はしない。火災・感電・けがの原因。分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお問い合わせ窓口にご相談ください。</li> <li>製品を水につけたり、水をかけたりしない。ショートや感電の原因。</li> <li>運転中は危険なため、吹出口の中や可動部に指や物を入れない。けがの原因。</li> <li>電源が入ったままで運転が停止しているときは、製品には絶対にふれない。突然運転し始めてけがや感電の原因。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定格電圧・定格周波数で使用する。定格電圧・定格周波数以外で使用するると火災・感電の原因。</li> <li>メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属張りの木造の造営物に据付ける場合、ボルトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように据付ける。漏電した場合火災の原因。</li> <li>お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切ってから行う。感電やけがの原因。</li> <li>停電のときは必ず電源を切る。停電復帰後、急に羽根が回り事故を起こす原因。</li> <li>漏電ブレーカーを設置する。漏電のときに火災・感電の原因。</li> <li>可動部にふれない。けがの原因。</li> </ul>
-----------	--	---

<b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体にぶらさげられない。落下によるけがの原因。</li> <li>本体に異常な振動が発生した場合は使用しない。本体や部品の落下によるけがの原因。</li> <li>爆発性の粉塵やガスの発生する場所または発生するおそれのある場所では使用しない。爆発や火災の原因。</li> <li>浴室など湿気の多い場所(湿度90%以上)には絶対に据付けられない。感電・火災の原因。</li> <li>壁から出ている埋込みボルトには据付けられない。据付けにより製品や建物の破損の原因。</li> <li>いかなる据付面に対してもモータ軸水平以外の据付けはしない。振動により製品や建物の破損の原因。</li> <li>角度調整の際、中央の戻り止めナットははずさない。落下によるけがの原因。</li> <li>本体の据付工事は十分強度のある所を選んで確実に行う。落下によるけがの原因。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋込みボルト(吊りボルト)・ナット・ワッシャーは必ず指定のものを使う。落下の原因。</li> <li>各部品は確実に取付ける。落下によるけがの原因。</li> <li>電気工事は必ず有資格者である電気工士が内線規程や電気設備技術基準に従って行う。接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。</li> <li>開梱・据付け・保守点検およびお手入れの際は手袋を着用する。けがの原因。</li> <li>長時間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。</li> <li>左右同じ角度になるよう、据付板の切欠部を確認する。左右の角度に違いがあると、本体がねじれて振動が発生し、異常音の原因。</li> <li>吊りボルトは耐震用振れ止め支持部材に必ず補強する。振動により製品や建物の破損の原因。</li> </ul>
-----------	---	---

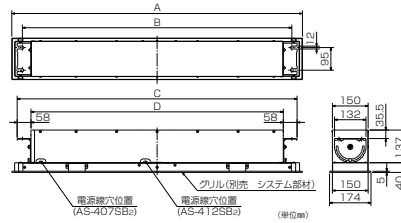
## 2.手配部品と外形寸法図

### 2-1.工事店様手配部品

- 吊りボルト(M8またはM10)
  - ナット(M8またはM10)
  - ワッシャー(外径21mm以上、37mm以下)
  - 耐震用振れ止め支持部材
  - スライドレール(斜め天井据付、壁据付の場合)
- ※吊りボルトに合う内径のワッシャーを使用してください。

### 2-2.外形寸法図

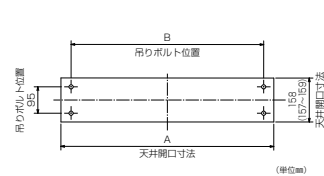
#### ■外形図



■外形図変化寸法表 (単位: mm)

形名	A	B	C	D	クルル対象機種
AS-407SB2	782	693	737	621	AS-GB407B2
AS-412SB2	1220	1131	1175	1059	AS-GB412B2

#### ■天井開口寸法図



■天井開口寸法図変化寸法表 (単位: mm)

形名	A	B
AS-407SB2	766 (765~767)	693
AS-412SB2	1205 (1204~1206)	1131

## 3.据付場所についてのお願い

- 据付場所が悪いと故障の原因になります。次のような場所には据付けしないでください。
  - ・屋外・塩害地域・0℃以下もしくは45℃以上になる場所
  - ・冷蔵庫、冷凍室など結露するおそれのある場所
  - ・可燃性ガス発生、流入、滞留、漏れのある場所
  - ・油煙や蒸気の多い場所
- この製品は高所取付用です。製品の下部が床より1.8m以上(15m未満)の高さに据付けください。低い所に据付けられず、けが・事故の原因となることがあります。また、床面から1.8m以上の据付けであっても、作業・活動等により人体に触れる可能性がある場合は、より安全のため人体に触れない高さへ据付けてください。

## 4.据付方法

本体の据付工事は、振動のない十分強度のあるところを選んで確実に行ってください。取付板の角度を調節することで、モータ軸水平方向に対して天井角度に制限なく据付け可能です。

■据付例(吊りボルト、スライドレール、耐震用振れ止め支持部材は工事店様手配部品です) (単位: mm)

天井埋込据付の場合	斜め天井据付の場合	壁据付の場合	露出据付の場合

- お願い
- 天井埋込する場合は、天井面との高さに注意して設置してください。
  - グリルと商品本体の位置がずれた状態で無理にグリルを取り付けしないでください。
  - 吊りボルトは、耐震用振れ止め支持部材にて必ず補強を行ってください。
  - 斜め天井据付の場合は、天井金具の角度を5°ヒッチで調整できます。

### 警告

- この製品は高所取付のため床より1.8m以上(15m未満)に据付けるべき原因。

### 注意

- いかなる据付面に対してもモータ軸水平以外の据付けはしない。振動により製品や建物の破損の原因。
- 埋込みボルト(吊りボルト)・ナット・ワッシャーは指定のものを使う。落下の原因。
- 埋込みボルト(吊りボルト)は十分強度のある天井面に固定し壁面には固定しない。振動により製品や建物の破損の原因。
- 吊りボルトは耐震用振れ止め支持部材にて必ず補強する。振動により製品や建物の破損の原因。
- 首振り運転の場合、首振り方向の気流到達距離が左右で異なります。カタログ・納入仕様書で風速分布を確認の上据付方向を検討してください。

### 4-1.据付前の準備をする

- 【水平天井の場合】
- 1.外形寸法図と据付例を参照し、強度な据付場所に吊りボルト(M8またはM10)を埋め込む。
  - 2.吊りボルトにワッシャー(外径21mm以上、37mm以下)・ナット(M8またはM10)を取付ける。

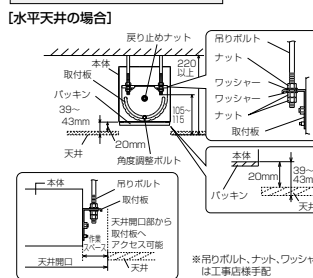
#### 【斜め天井の場合】

●お願い

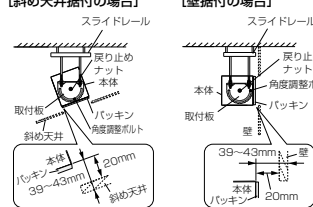
- 吊りボルトの位置が、天井開口穴に対し片寄りなようにしてください。
- 斜め天井・壁据付の場合、スライドレールを使用してください。位置調節が容易になります。
- 本体の周囲は300mmの空間を確保してください。作業ができなくなります。
- 本体を持ち上げる時は、ケーシング・羽根を直接持たないでください。ケーシング・羽根が変形するおそれがあります。\*ケーシング変形防止保護(バット(ダンボール))はグリルを取付けるまで取りはずさないでください。
- 本体を据付ける時や本体を置く時はグリル取付面を下向きに置かないでください。ケーシング・カバーが変形するおそれがあります。

### 4-2.本体の据付け

#### ■天井埋込据付・露出据付



#### 【斜め天井据付の場合】



#### ■水平天井の場合

- 1.天井に天井開口寸法にもつぎ開口を開ける。  
\*天井開口穴と製品本体の位置にずれがないこと(10mm未満)を確認してください。位置がずれた状態で無理にグリルを取付けしないでください。異音発生の原因となるおそれがあります。
- 2.天井開口穴よりあらかじめ埋込んでおいた吊りボルトに取付板を通す。
- 3.天井と本体の距離を適切な位置に調整する。  
\*天井開口穴より吊りボルトに取付けてあるワッシャー、ナットを緩め、本体の据付高さの変更が可能です。
- 4.本体が水平であることを確認し、ワッシャー、ナットを使用して確実に据付ける。

#### ■斜め天井据付の場合・壁据付の場合

- 1.水平天井の場合を参考に本体を据付ける。
- 2.斜め天井・壁に対して本体が平行になるように取付板の角度を調整し据付ける。

### 注意

- 壁から出ている埋込みボルトには据付けられない。振動により建物の破損の原因。

